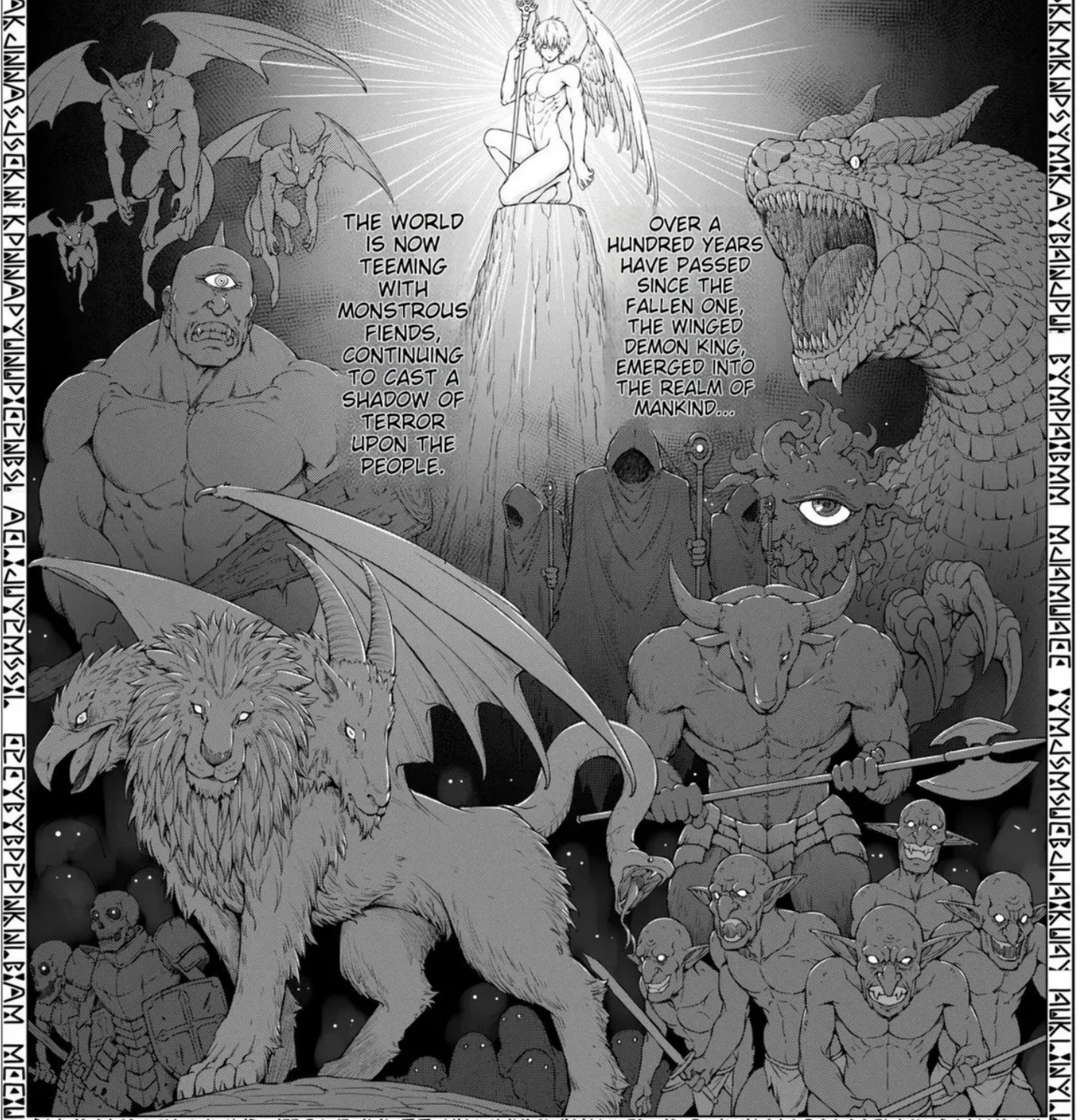




THE
SECRET
NIGHT
OF THE
KNIGHT
AND
THE
PRINCE

NASASLPA AYPYELI PIYUJAMKA PBBWAIQJANBIE IBWJ. NWAATKKBK PYIBJINSEU



THE WORLD IS NOW TEEMING WITH MONSTROUS FIENDS, CONTINUING TO CAST A SHADOW OF TERROR UPON THE PEOPLE.

OVER A HUNDRED YEARS HAVE PASSED SINCE THE FALLEN ONE, THE WINGED DEMON KING, EMERGED INTO THE REALM OF MANKIND...

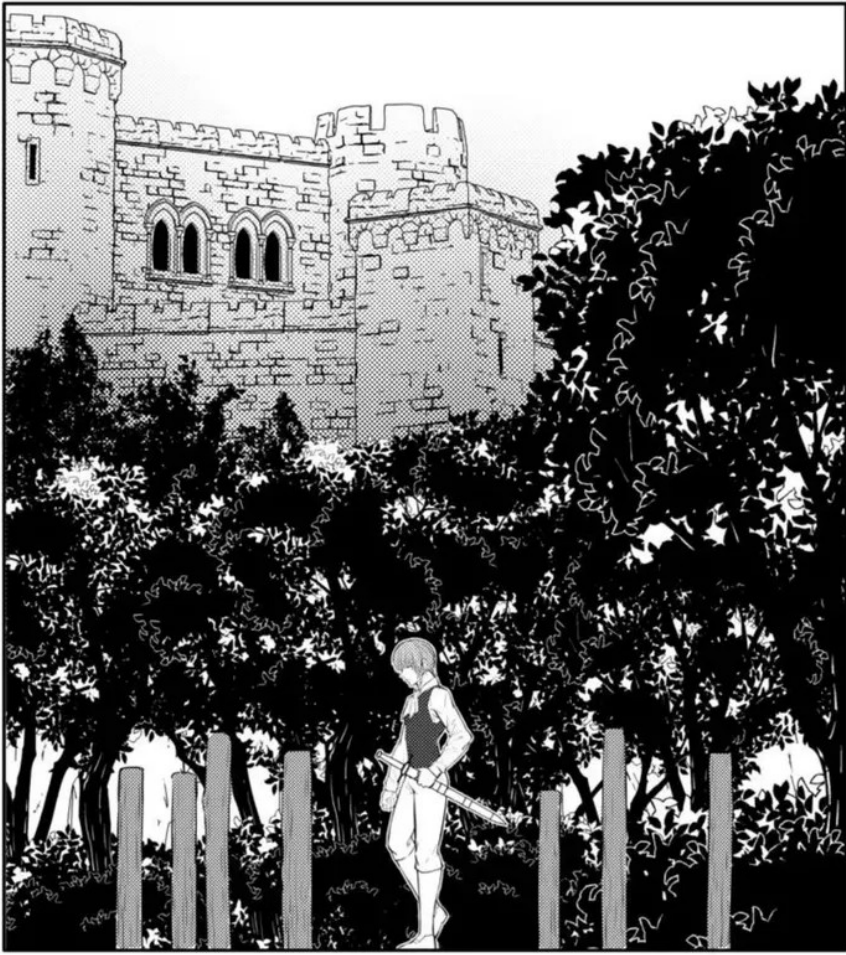
LNDPBIAPMU YMINEDJAYDINLECE UKMINUAYKKY IPDPAJMK BIAABI.BBILAYENSDPYI



A SINISTER SHADOW BEGINS TO CREEP CLOSER.

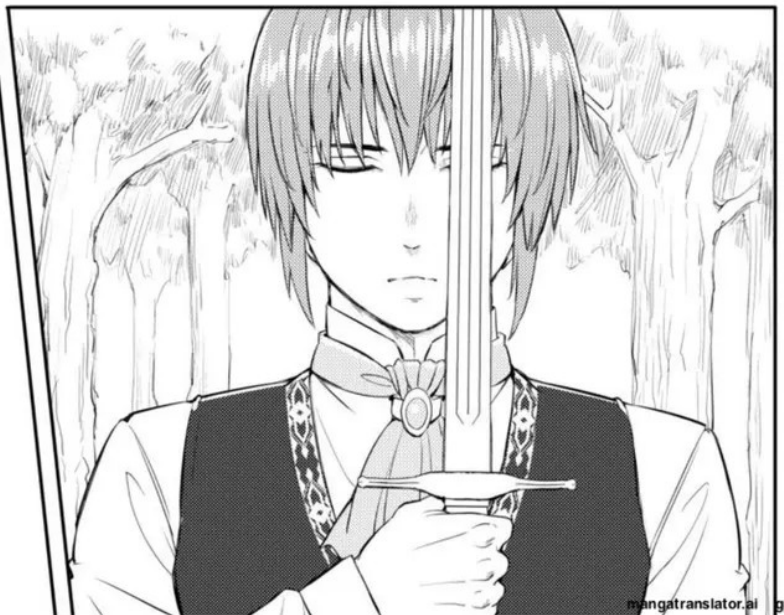
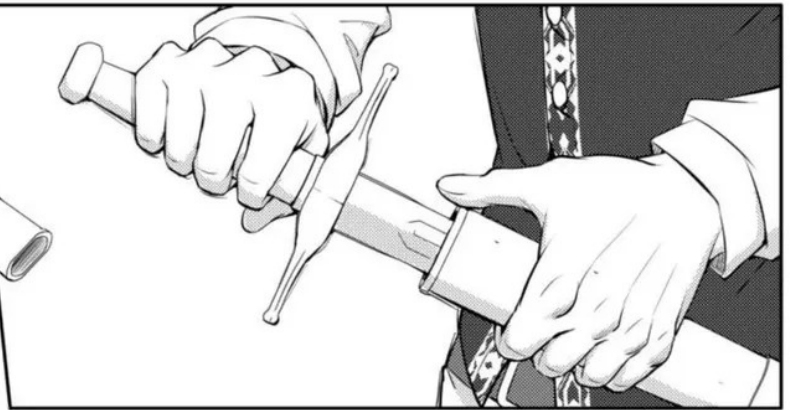
AND NOW, IN A SINGLE KINGDOM...

YEAR
847 OF
THE
GOLDEN
ERA,
KINGDOM
OF
FALSIA.

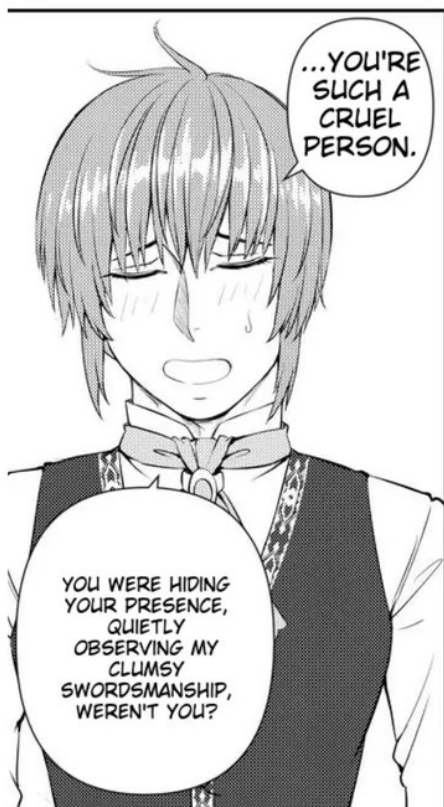


UGH...

HEHEHE!









THE
BACKBONE
OF OUR
KINGDOM'S
DEFENSE.

THE THREE
HOLY
KNIGHTS,
INCLUDING
HIM, ARE
TRULY
WARRIORS
OF
UNMATCHED
PROWESS...

SIR WALTER
GARLANDS.

SIR REYNARD
SOLOMON.

SIR MAXIMILIAN
GRAVES.



I WANTED TO
CATCH A
GLIMPSE OF
HIS
HIGHNESS'S
FACE BEFORE
SETTING OFF.

I APOLOGIZE
FOR THE
INCONVENIENCE.

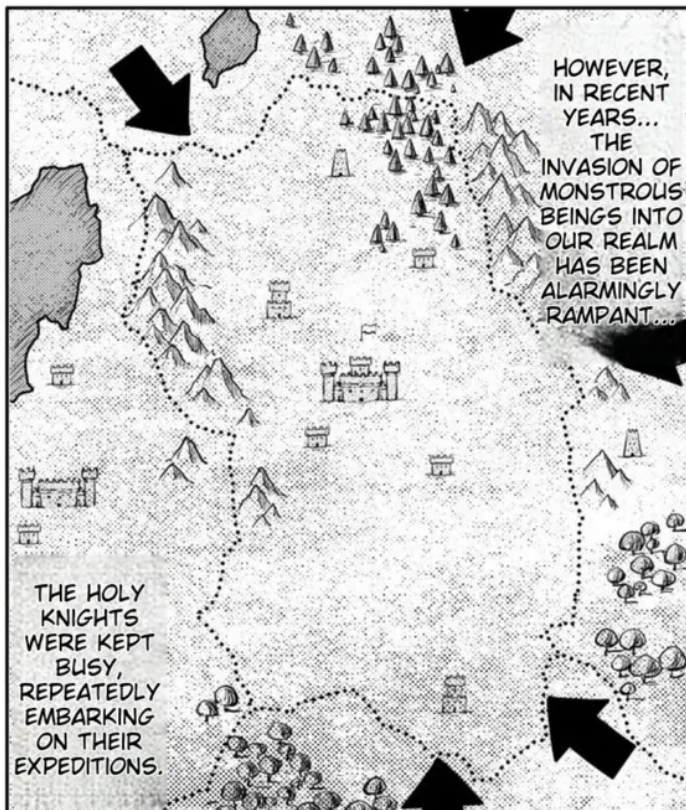


AND
BESIDES...



I SENSE AN
UNSETTLING
AURA EVEN
IN THIS
ROYAL
CAPITAL.

EVEN IF IT'S
JUST THE
CASTLE'S
BACK
GARDEN, I
MUST INSIST
YOU
REFRAIN
FROM
WANDERING
ALONE.



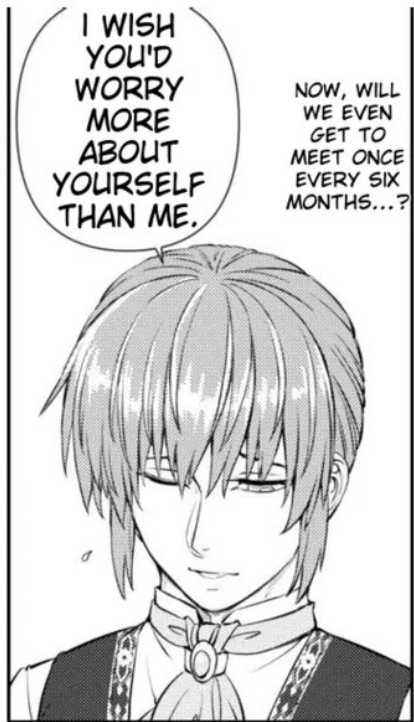
HOWEVER,
IN RECENT
YEARS...
THE
INVASION OF
MONSTROUS
BEINGS INTO
OUR REALM
HAS BEEN
ALARMINGLY
RAMPANT...

THE HOLY
KNIGHTS
WERE KEPT
BUSY,
REPEATEDLY
EMBARKING
ON THEIR
EXPEDITIONS.



REYNARD
IS MY
SWORD
MASTER.

AND
THUS, I
HAVE
COME TO
TENDER
MY
ADVICE.



OF COURSE.

REGALE ME WITH YOUR TALES OF ADVENTURE.

WHEN YOU RETURN...

I WISH YOU'D WORRY MORE ABOUT YOURSELF THAN ME.

NOW, WILL WE EVEN GET TO MEET ONCE EVERY SIX MONTHS...?



EIGHT YEARS AGO... HE WAS SUMMONED TO THE ROYAL CAPITAL AS MY SWORDSMANSHIP INSTRUCTOR.



TO YOUR SIDE...

THIS TIME, I WILL SURELY COME BACK ALIVE...



IN MY YOUTHFUL HEART, I ONCE THOUGHT THIS WAY.



THE KNIGHT OF MY DREAMS, A VISION SO BRIGHT!



HE MUST HAVE STEPPED RIGHT OUT OF A STORYBOOK!

THIS GALLANT YOUNG WARRIOR, A DAZZLING SIGHT!



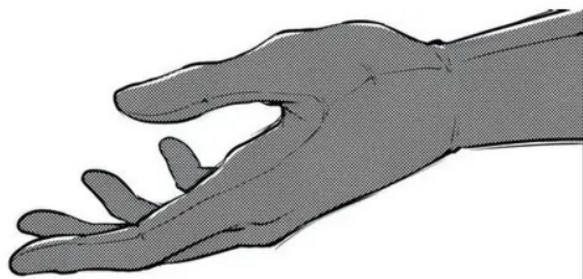
WITH HIS SWORDSMANSHIP AND...



WHAT HE BESTOWED UPON ME WAS...



THE
JOY
OF
LOVE



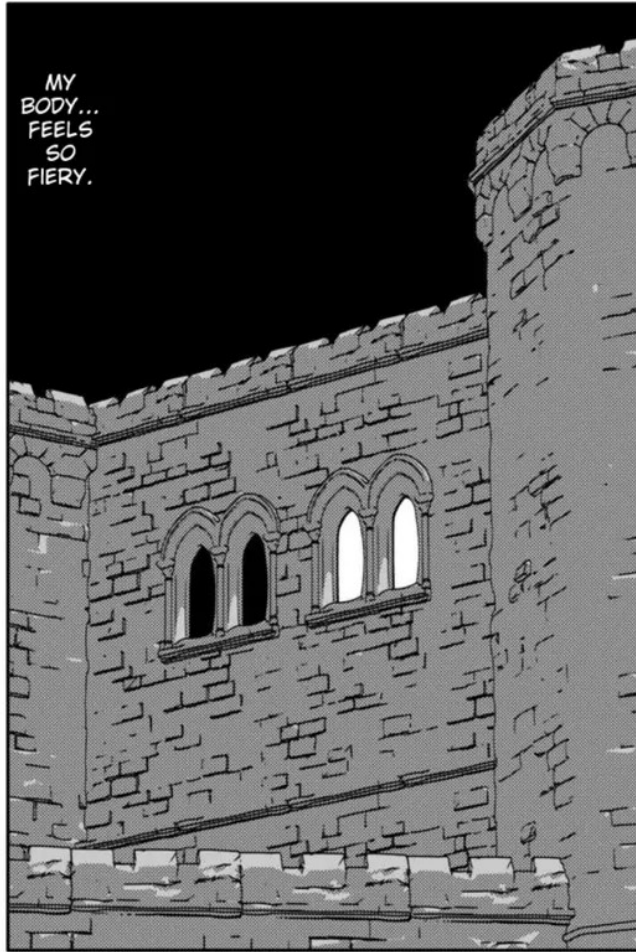
...WELL,
IT
DIDN'T
TAKE
LONG,
DID IT?

TO
REALIZE
IT'S
NOT
JUST
ABOUT
JOY...

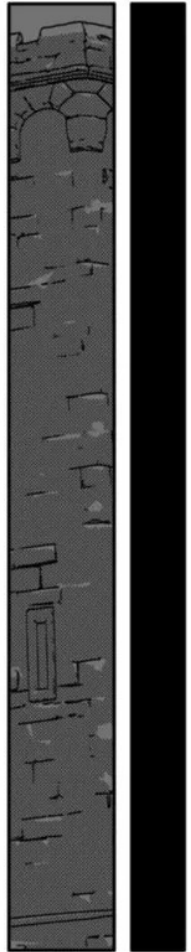




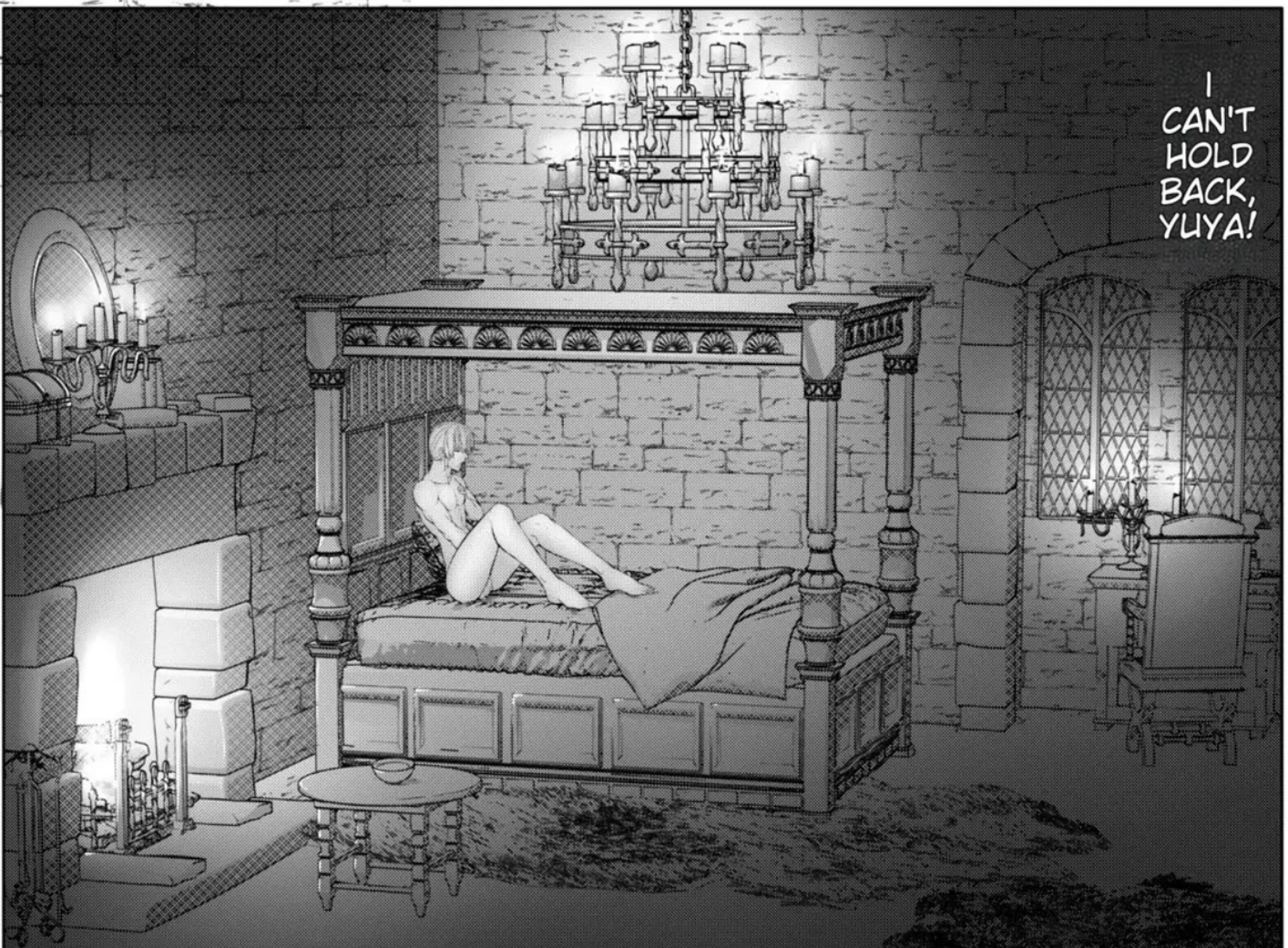
HE IS
OFF TO
BATTLE,
YET...



MY
BODY...
FEELS
SO
FIERY.



...NOT
LIKE
THIS.



I
CAN'T
HOLD
BACK,
YUYA!



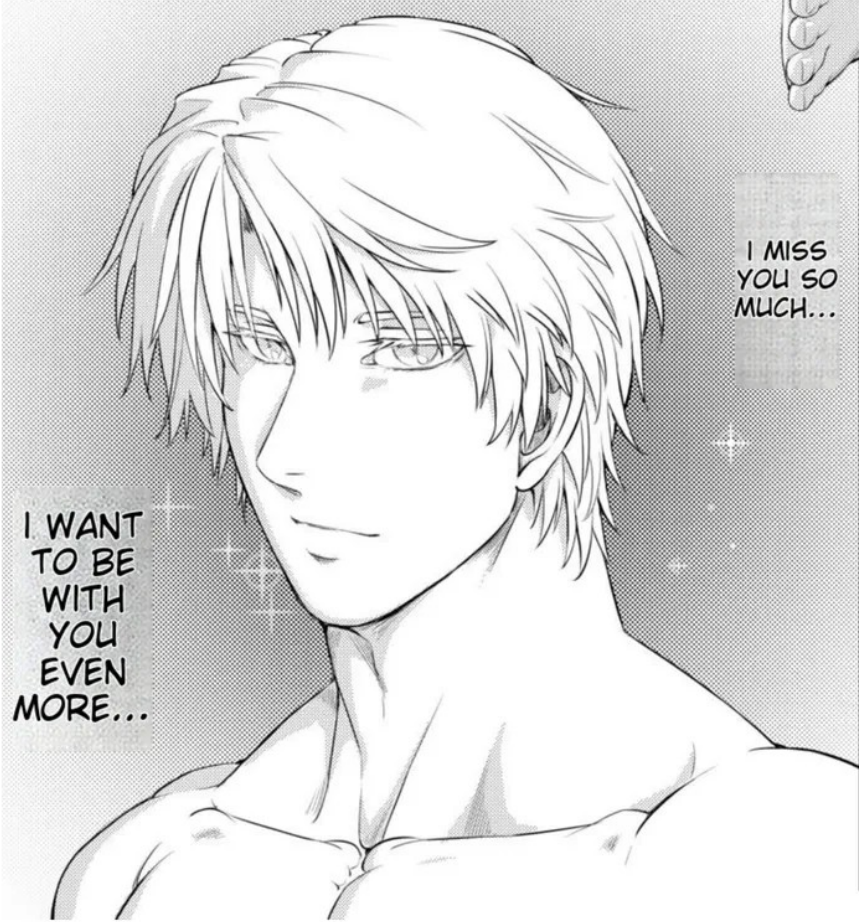
OH...
AHH...
MY BODY IS BURNING WITH LONGING... I CAN'T HOLD BACK!
うん

はあ

AHH...

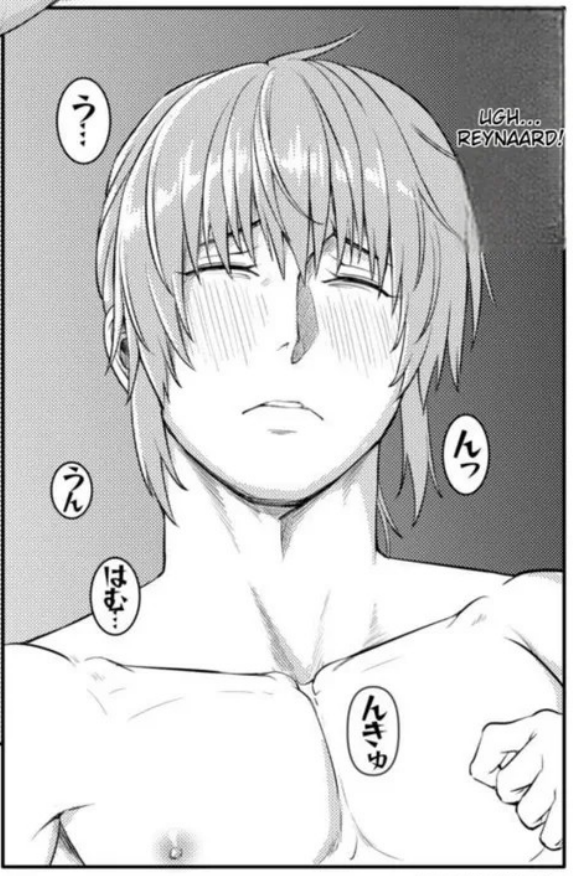
うん

うう



I WANT TO BE WITH YOU EVEN MORE...

I MISS YOU SO MUCH...



UGH... REYNAARD!

うん

うん

はあ

んっ

んきゅ



I LONG TO BE HELD BY HIM...



I WANT TO... KISS HIM...



REYNARD!

...I LIKE YOU.

I LOVE YOU SO MUCH...

I ADORE YOU SO MUCH...



MM!

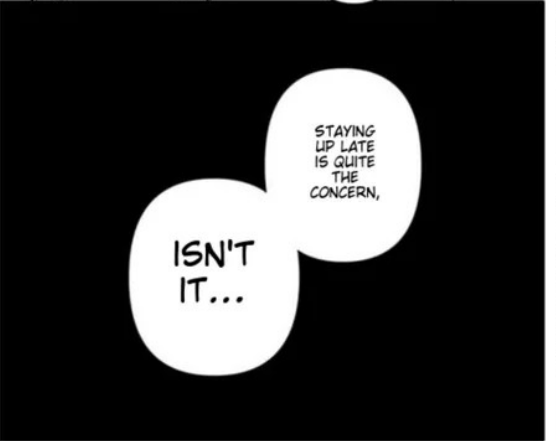
OHHO

...I GET IT.

I CANNOT INDULGE IN SUCH WORLDLY AFFAIRS, FOR I SERVE THE DIVINE.

AHHO

AH!



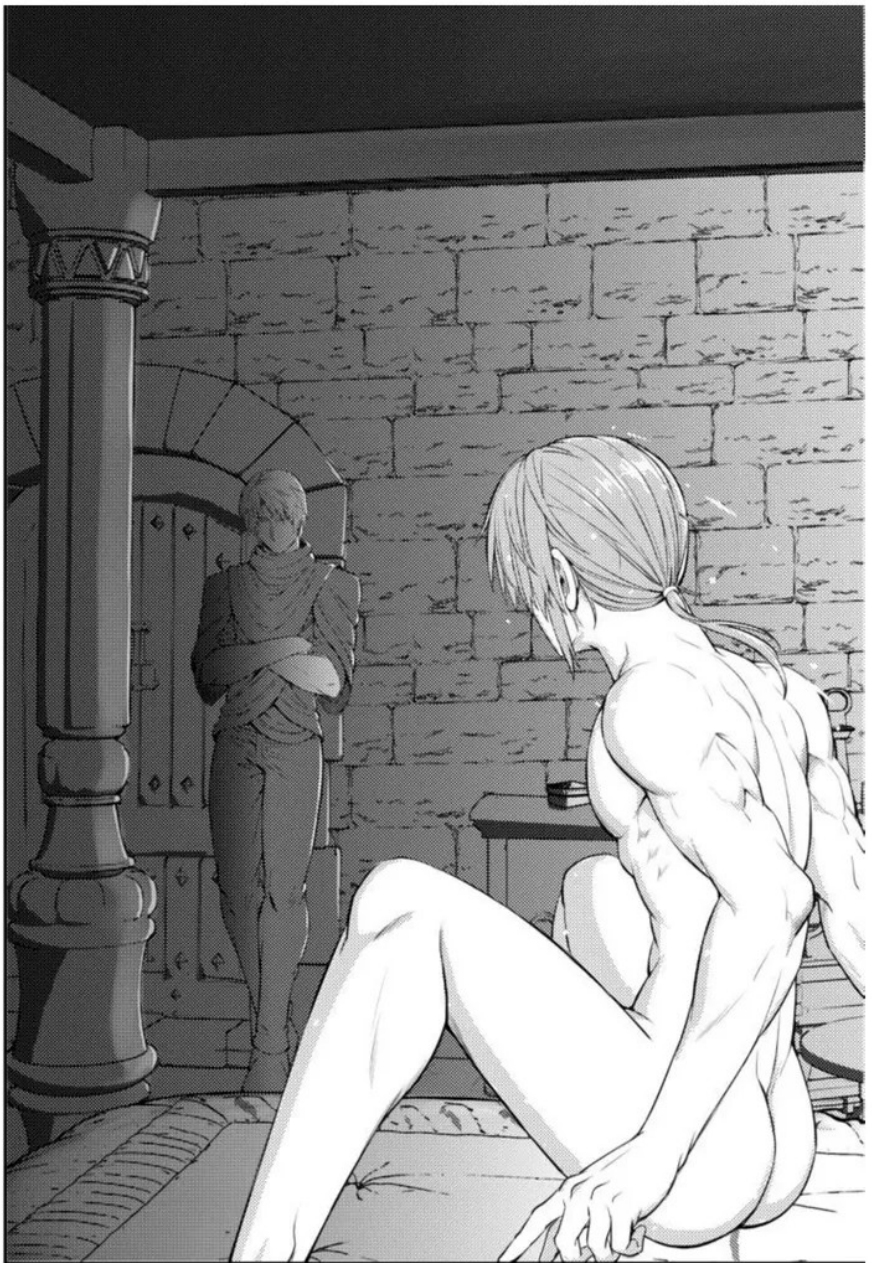
AN UNATTAINABLE...
CHERISHED
FANTASY

BUT THAT'S ALRIGHT,
THIS IS JUST
MINE TO HOLD...



NO WAY!

WHO ARE YOU?!

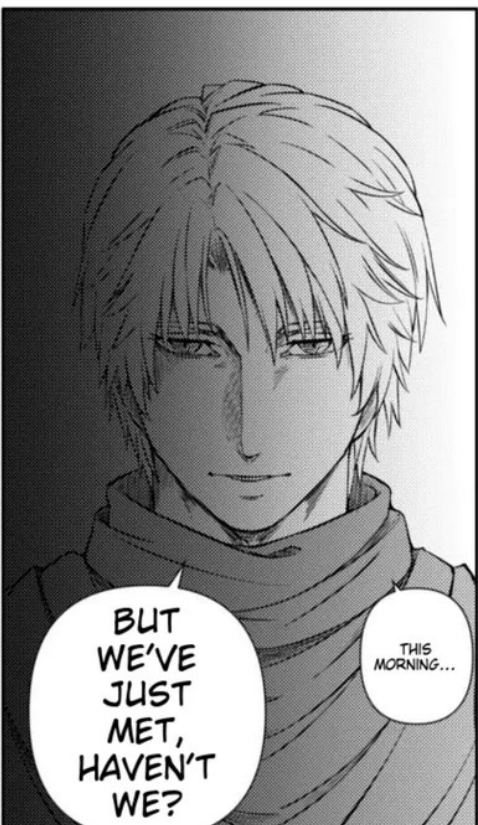


YOU SPEAK OF LONELINESS.



レッ
レッ

エエエエ!



BUT WE'VE JUST MET, HAVEN'T WE?

THIS MORNING...



HUH?

HUH?



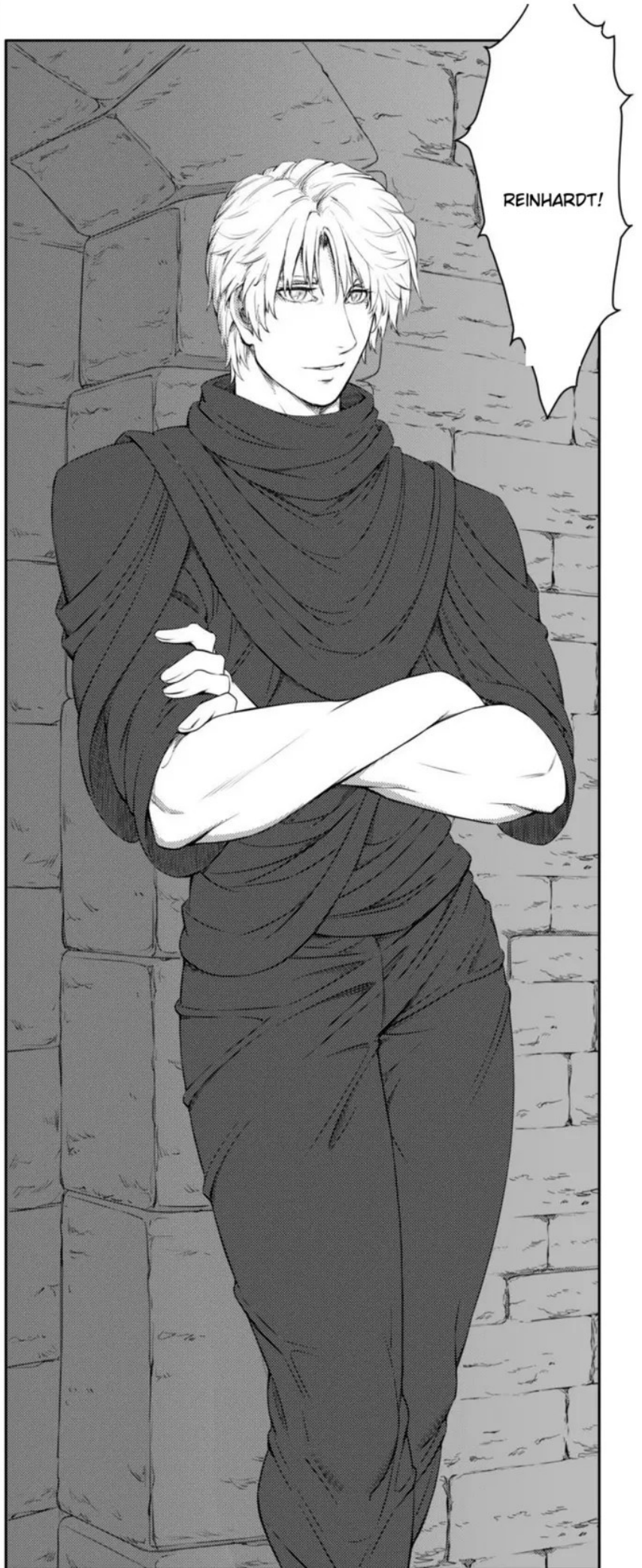
W-WHY IS THIS HAPPENING?

RIGHT HERE!



WAIT... I THOUGHT THEY WERE OFF ON AN EXPEDITION...

THEY SHOULD BE... BUT...



REINHARDT!

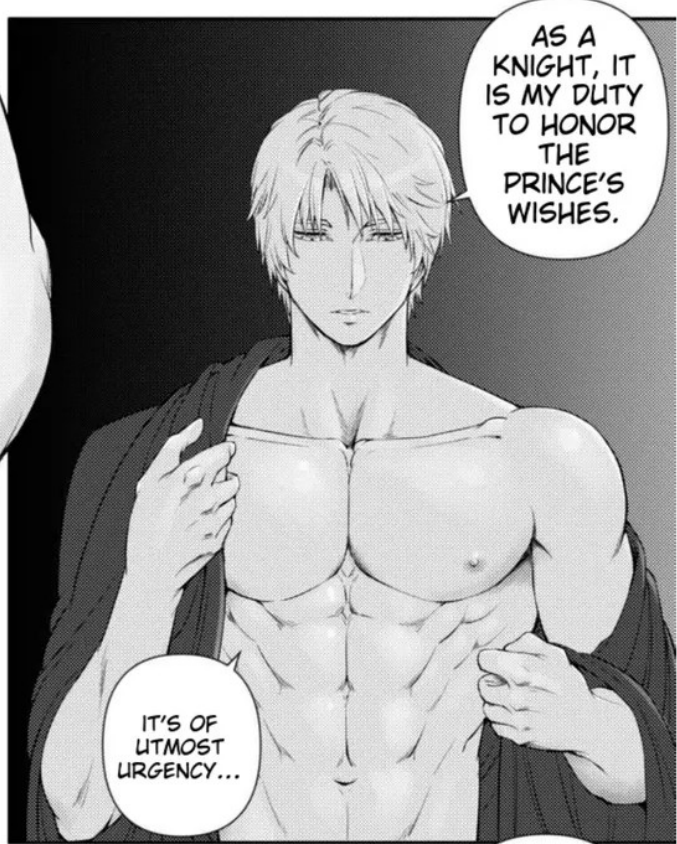


HERE IS WHAT YOU REQUESTED.

SO TONIGHT, WE SHALL...



I'VE MADE A CHANGE TO OUR PLANS...



AS A KNIGHT, IT IS MY DUTY TO HONOR THE PRINCE'S WISHES.

IT'S OF UTMOST URGENCY...



WHOA!

HUH?!

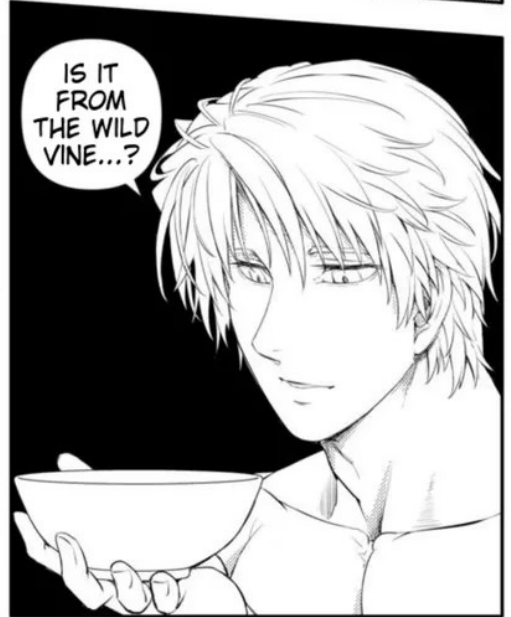
77



THAT'S WHAT LED ME TO THIS CONCLUSION.

RE...

REYNARD?

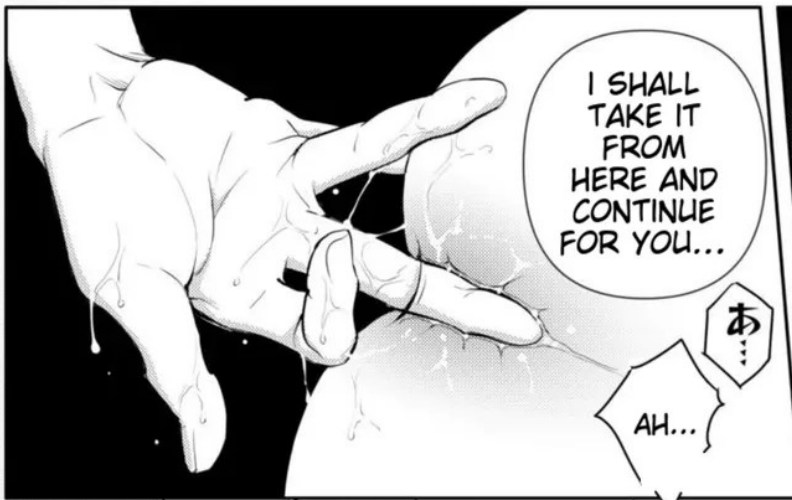




REYNARD!

RE...

WHAT IS IT THAT YOU...?



I SHALL TAKE IT FROM HERE AND CONTINUE FOR YOU...

AH...



IT'S A LITTLE GIFT TO MAKE UP FOR INTERRUPTING YOUR FUN.



AHHH♡

MMMPH♡



N-NO...



ARE YOU... TEASING ME?

EVERY NIGHT HERE...

AH...

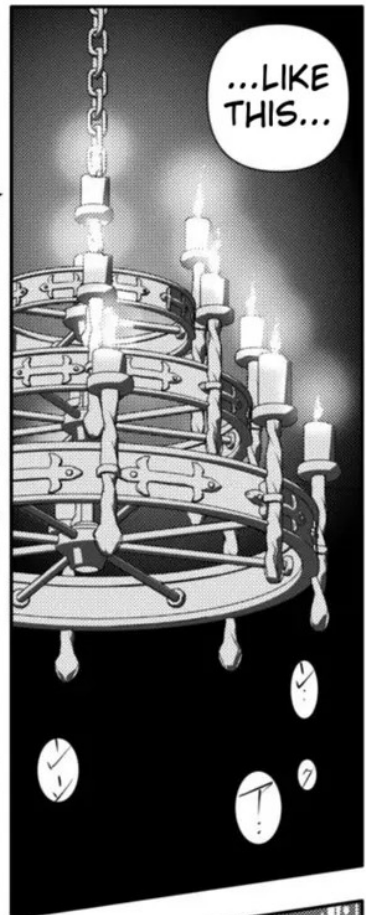
んは...

AHH!

WAIT,

HOLD ON A SECOND!

OH...



...LIKE THIS...



AHH! AHH!

AH



AH...

IT'S COMING OUT!

NO... STOP IT!

AHH, OOF!

IT'S REALLY ABOUT TO BURST!

OUCH!



ああ…
素晴らしい



お尻だけで
こんなにも
感じるなんて

受け入れ
準備はもう
出来ている…



…という
ことですか



に本当

アッ

ハッ

アッ

求めていた
のですねえ



あぁ...
凄い

初々しくて
やわらかい

なのに凄く
締めつけて
くる...



ハウウ

いきなり
すぎてえ

わかん
ない...

なんか

お腹あ...
ギューて
なる



男が中に
入ってくる
心地は...

いかが
ですか？



嬉しい…
気持ちいい

なのに何だろう？
この違和感は…



ハ
だけど…
しゅごく

気持ち
いい…



ヒヤ♡

そ…

ダメえ

違いは
ありません

何も…



でも…
聖騎士が…
こんなこと

今日の…
あなたは

なにか
いつもと
違う…

ア…



何も、です
：殿下

激しっ

イイ

これまで
と同様…

私はただ
貴方が望む事
を成すだけ

変に…

なつちやう
…からあ

奥を…

ぐりぐり
しないであえ



さあ…
もっと

乱れま
しょう



ああ…

そうやって
悶えるあなたは
実に愛らしい



如何
ですか？

後ろから
抱えられ激しく
突かれるのは…

イヤ
アッ

アッ



まるで
犯されて
いるようで

こうすれば
さらに…

気持ちよく
なれますよ

アウウ

興奮する
でしょう？

やっぱり
おかしい

そ……お

そんなに
……つよ……く

アッ

体が求めて……
止められない

シウウ

レ……レ……
……し……ち……や

ハ
ア
ア
♡

……

ダメ

凄くマズい
気がする……けど

ハウ

ダ……メ……エ

アッ



話を…

…待てと
おっしゃい
ますが

ちよ…
ちよつと
待って…

腰を動かして
打ちつけて
いるのは…



殿下の
方ですよ？



だっ…て
勝手に…

ンツ

ハッ

動い…
ちやう



：私の
好みは

ですが
あまり私の
好みではない



そう
ですか

アッ

ハッ

アッ



アッ



：お人形
のように

アッ

アッ

アッ

ハッ

アッ

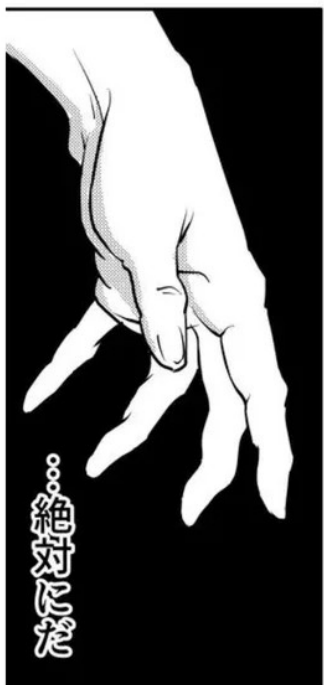
される
がまま…

犯される
がままの
あなた…

ハッ

クウッ

その方が
可愛い
ですよ



情欲に流されて

あっ…

あう

何やってんだ
僕は…

…この人は
レイナードじゃない

さあ…
今度は
お口で…

ウウツ

ング…

ンツ





手薄になった
この城にも
楽々侵入できた

なかなかの
演技だった
ろう？



誰？



…ん？
おやあ…

流石に
気付いて
きたかあ



…声が！
ウツ

ウブツ

だが…
もう遅い

王族を
亡き者に
すれば

こんな小国は
簡単に滅びる



うぷっ

ズアア!

カハア



身体が燃える
ように熱い...

頭がくらくら
する...

な...んだ

ハ

ハ





ま...もの...

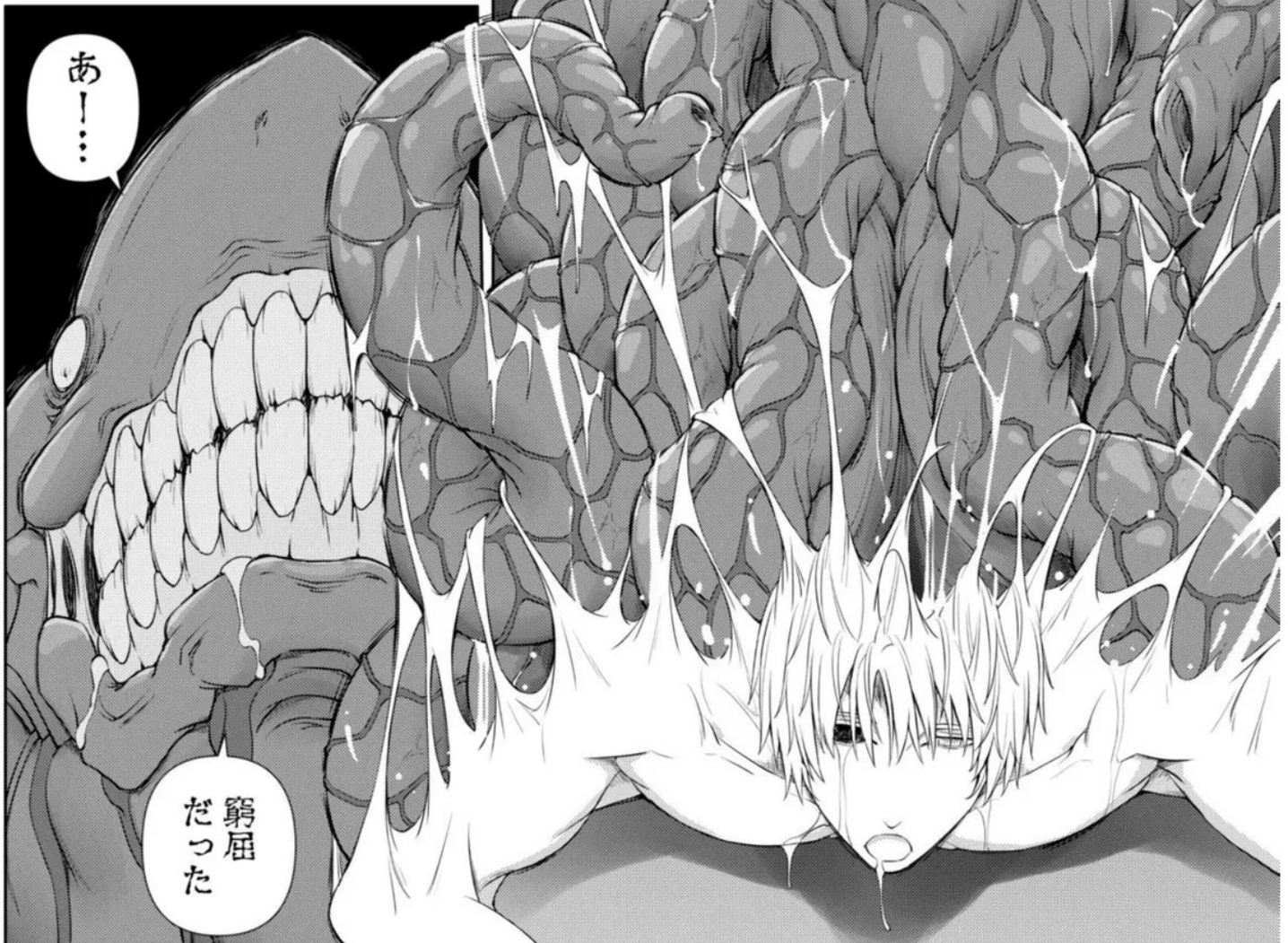
ア?

ア

ア!

ギ
イ
イ
イ
イ
!

ギ
ッ



あ
!
...

窮
屈
だ
っ
た



俺の体液を
飲んだから
なあ…



動けん
だろう？

どうだあ？



これでめえを
好きにできるって
訳だあ王子様あ

んあッ

ひあッ

やッ…

やめッ
…てえ

はあッ





スツ

吸うなアア

ヤメツ
ミテエ

イッ
イッ

アッ
ニアッ

ハアッ

出るッウウ

出ちやうウウ

ハアアア!

オツ

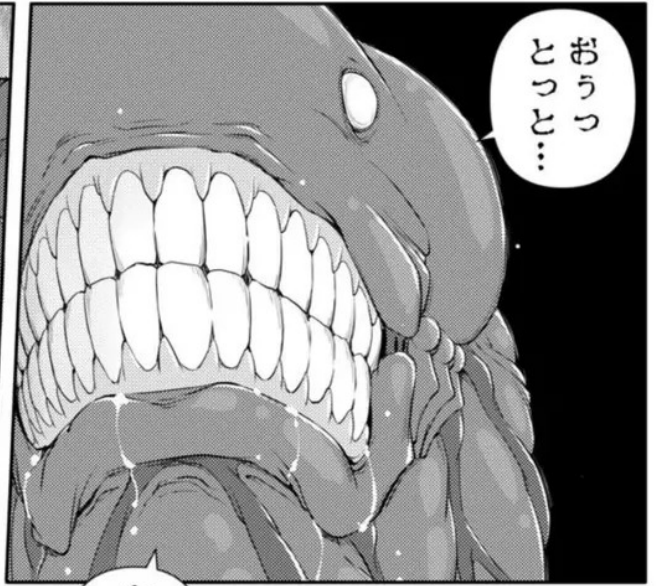
オオッ

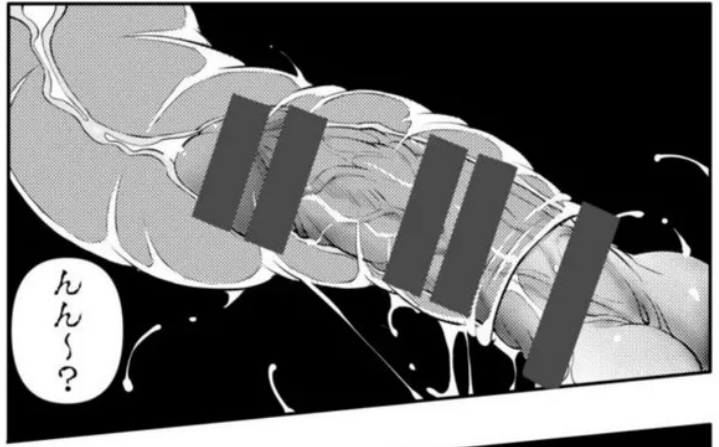
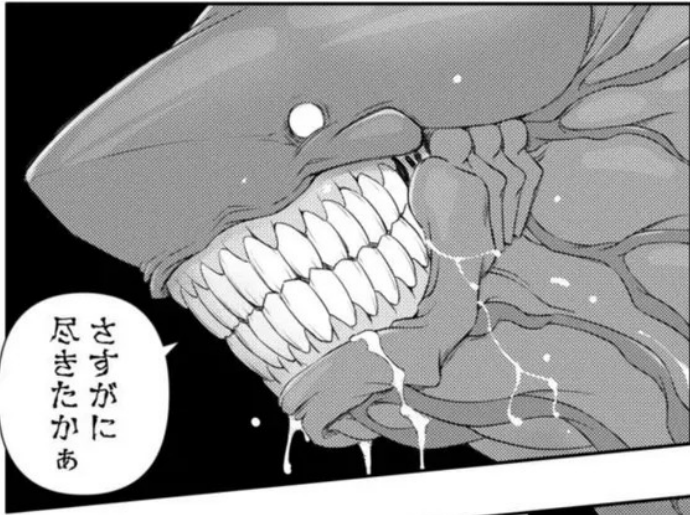
オウツ

オオッ!

ツ

ウツ







誰がてめえの
意見を聞いたよ
クソガキイ

そういうのは
好みじゃねえって
さっきも言った
よなあ！

んっんっ♪
元気だなあ

アッ
イヤッ

ハイ
や...
めろお

ハイ
そんな
の...

でえも♪

ハイ
入らな
い...

てめえは
黙って…

ガアッ

犯されて
ろつつうの！

アッ

アアッ

クアッ

今から王子様の
腹ん中にい

魔紋を
刻むぞえ

ウッ

そしたらてめえは
俺が与える快樂にい

抗えなく
なるう！

ヒギィ

クフウ



まずは父王を
殺して王位を
篡奪…

悪政の限り
尽くそうかあ

愛しの
聖騎士様も

ぐちやぐちやに
犯してやろうぜえ



そおれ
魔紋があ

浮かんで
きたぞお！



これで
この国はあ

我が主の
ものだあ…



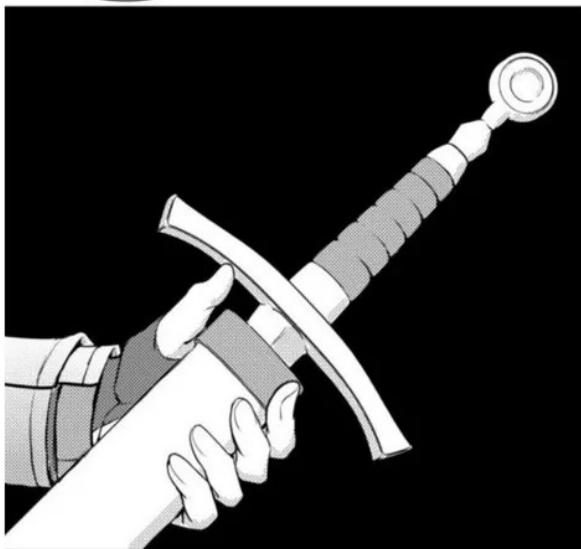


キヤハツ
また盛大に



たのち

噴き出した
なああ！



アッ

アッ

アウウ

アッウ



とめ…て

と…め

アッ

アッ



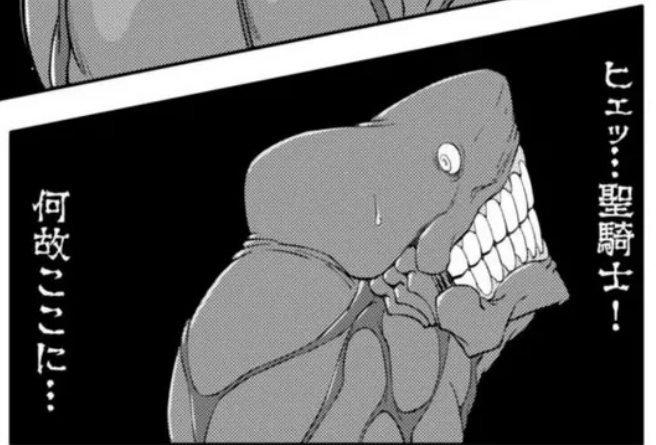
不穏な気配を
辿ってみれば…

およっ？

こういう
事か…



薄汚い
化け物！



「エッ…聖騎士！

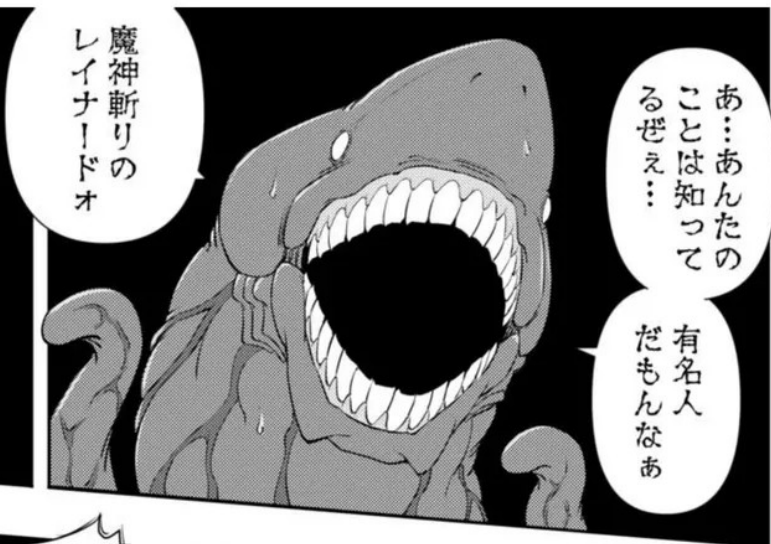
何故ここに…



殿下を
はなせ



そんなに
怒んなってえ



魔神斬りの
レイナードオ

あ：あんたの
ことは知って
るぜえ：

有名人
だもんなあ



ぜッ！



この餓鬼
はなあ：

あんたを思っ
ずっと一人で悶々
としていたのさ

それを俺が
慰めてやっ
てるって訳



感謝して
ほしい
くらいだ：

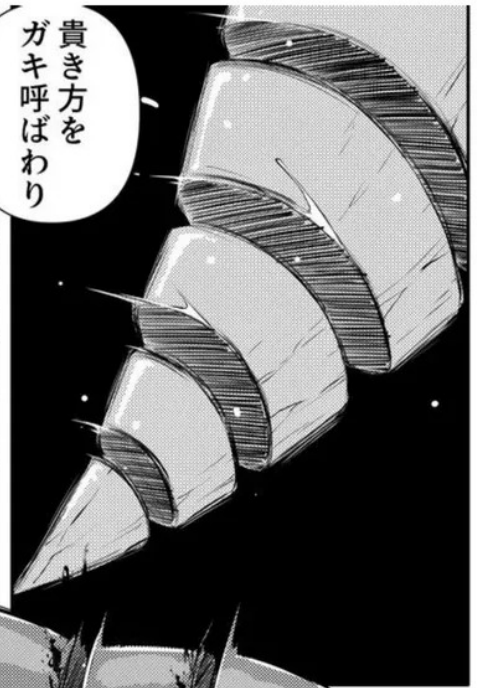


ほえ？

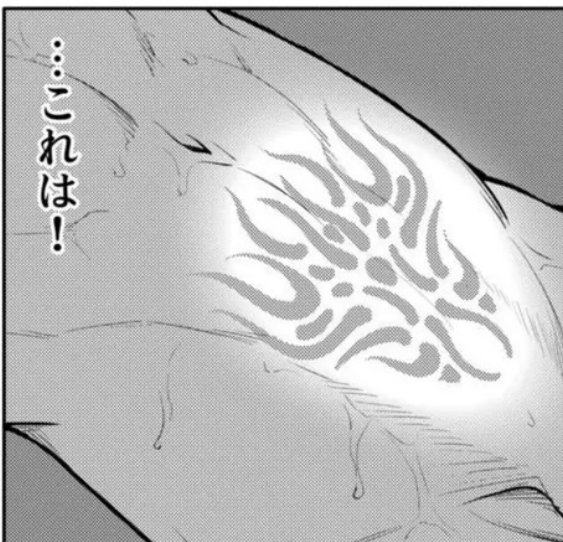
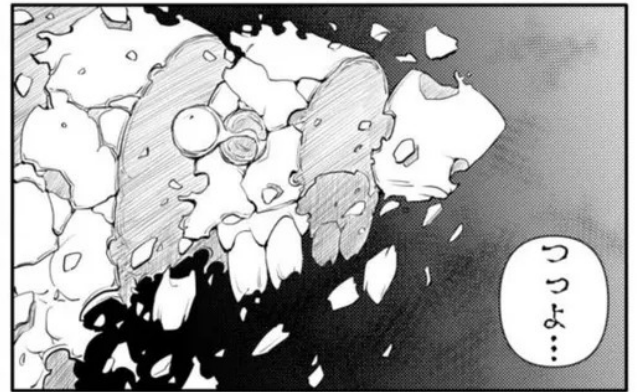


貴き方を
ガキ呼ばわり

何たる
不敬…



バ
ベ
エ
エ
!



そいつはなめ
レイナード



体内に刻まれた
魔紋が暴れてるのさ

満足するまで
その疼きは
止まらねえよ



安心しな…
その魔紋が
消えるまで



俺が何度でも
抱いてやるよ



殿下…

しばし
お待ちを！







僕のこと…

嫌いに
なった？



レイナード…

レイナード
なの？

ええ
殿下…

…もう
安心です

ハア

ハア

ハア



…。

あの魔物の
言うとおりの
なんだ…



剣の
稽古も

ただ貴方の
側にいたい
一心で…

殿下



何も恥じる
ことは
ありません

あ…



僕はあなた
のこと…

ずっと
いやらしい
目で見てた

人が人を
愛するは
自然の理

ご自分を
責めないで

薄々
気付いてはいた

殿下にそのような
お心があることを...

今は
ただ...

私に身を
ゆだねて
ください

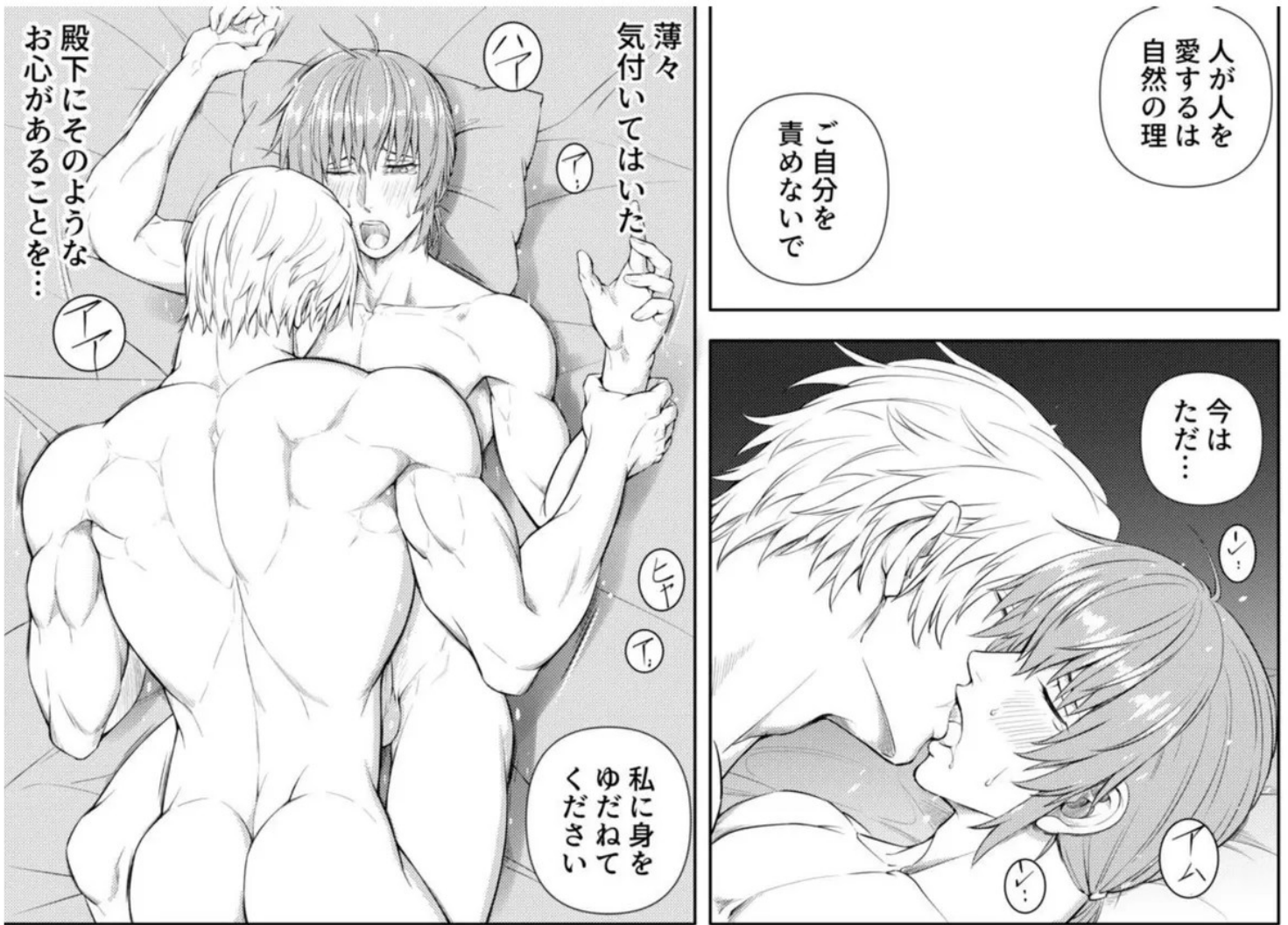
そついう
お年頃に...

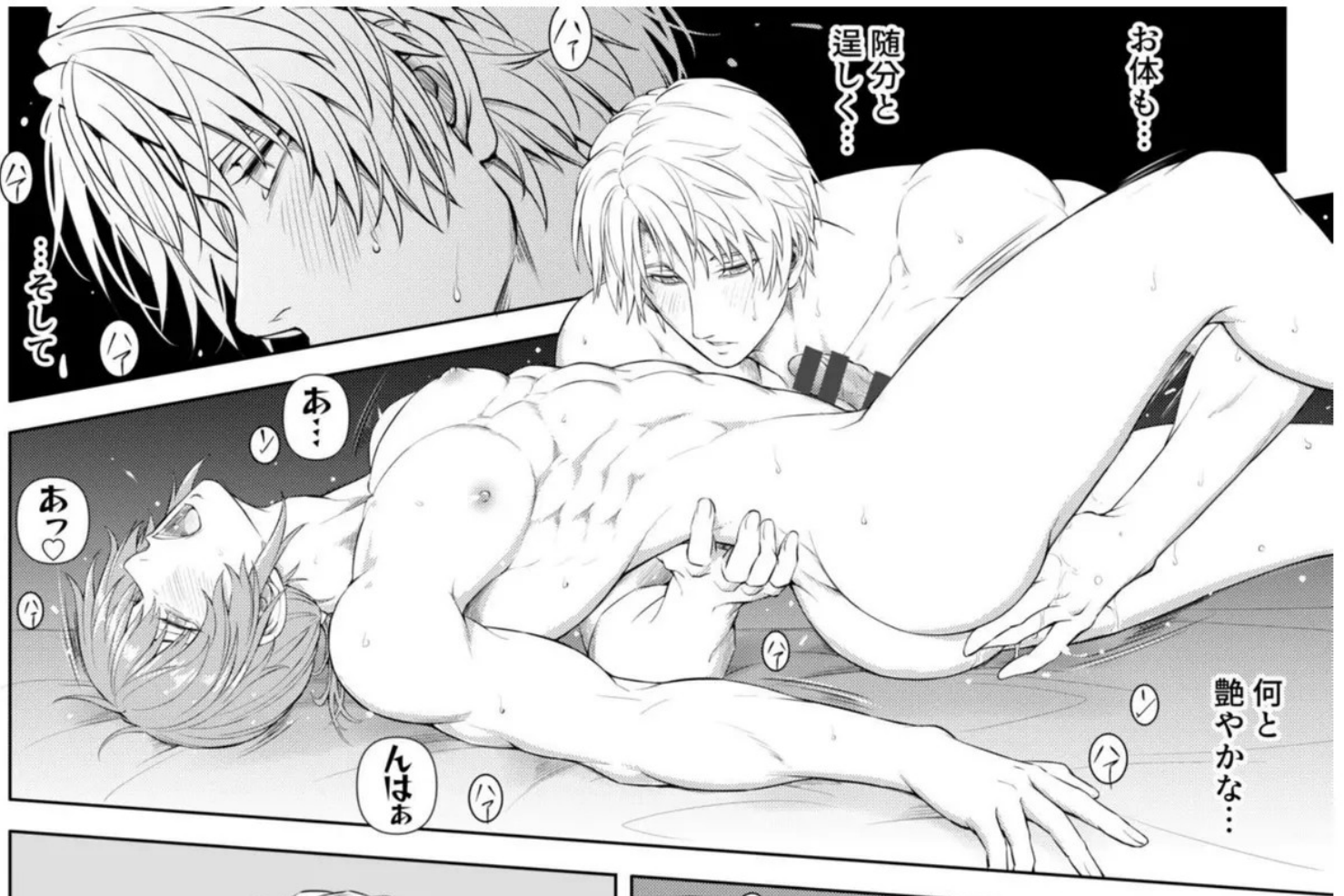
あ...

はう♡

んあ...

...なられたのだな







初々しい
喘ぎ声と…

私を求める
言葉が…

レイ…
ナード

レイナード

レイナードオ

戦いに疲れた
心にしみわたる



あああ…

気持ちいい
よおお



…好き

好き

大好き



これは治療
…只の治療なのだ

私も！

お慕い申して
おりました…



初めて
お会いした
あの日…

自分に
愛らしい弟が
出来たようで

…本当に
嬉しかった

そう自分に
言い聞かしたはず
…なのに…なのに

ああ…チクシヨウ

あ…はあ…
レイナード

アア

ハア

僕のこと
…好き?

ええ…
好きです

ハア

ハウ

ほんと?
本当に?

あ…ん…
もう一度
…言って

…ええ
ずっと
前から

アッ

レ

ん…あ…
レイナードオ

ハ

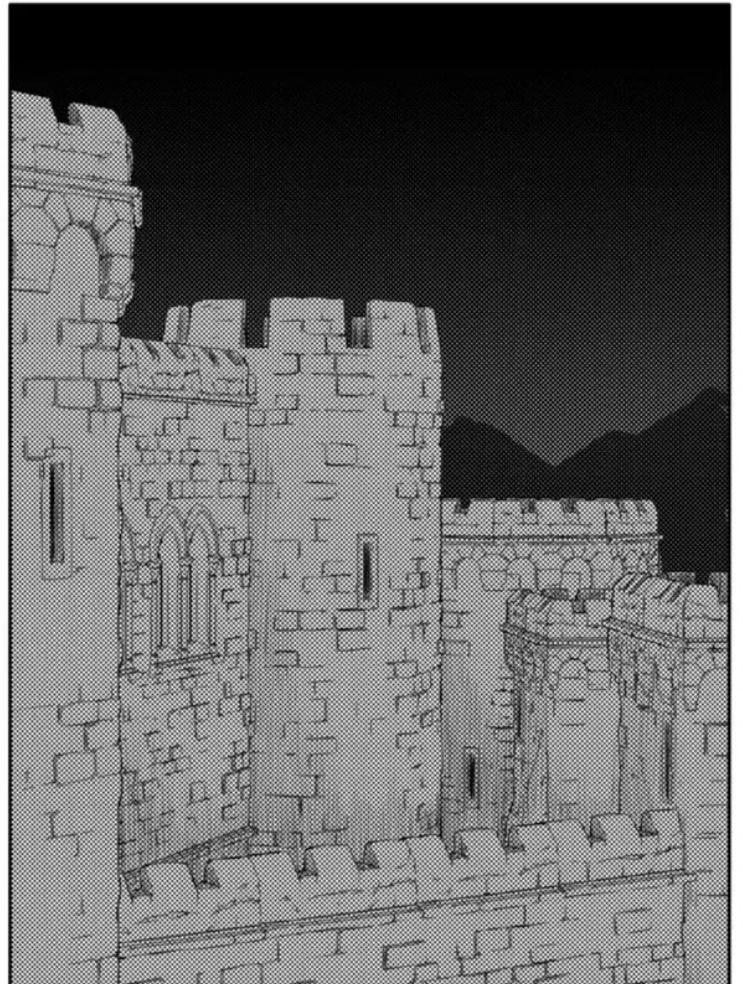
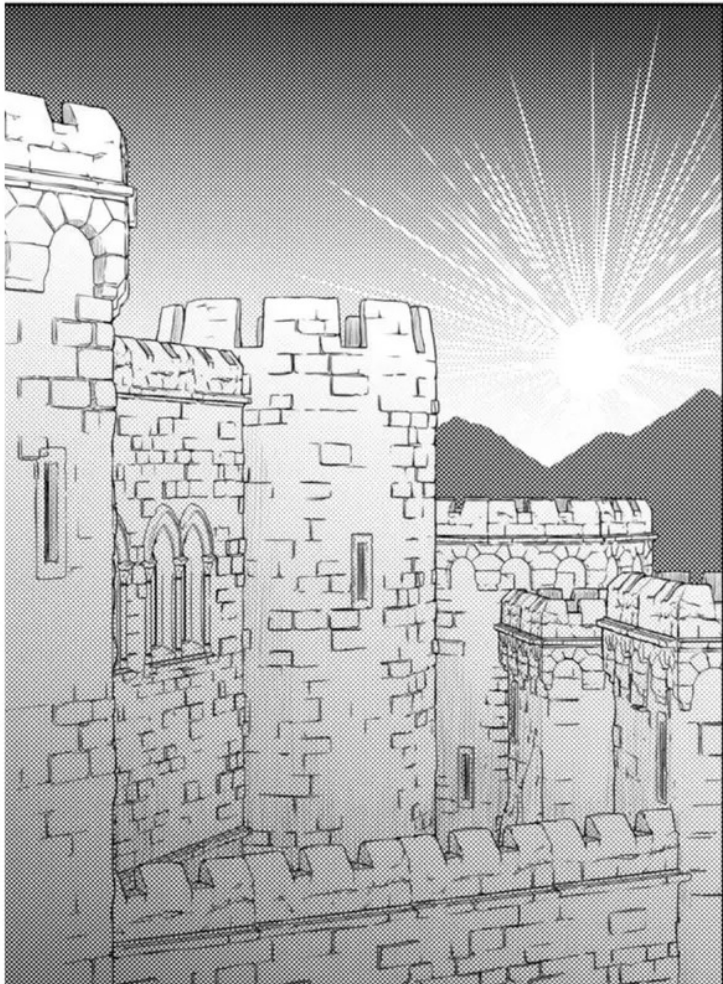
…フェリル

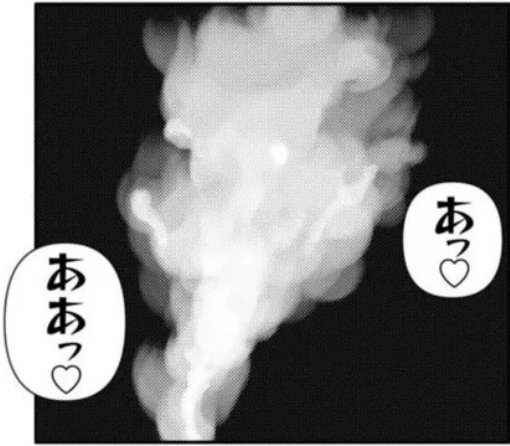
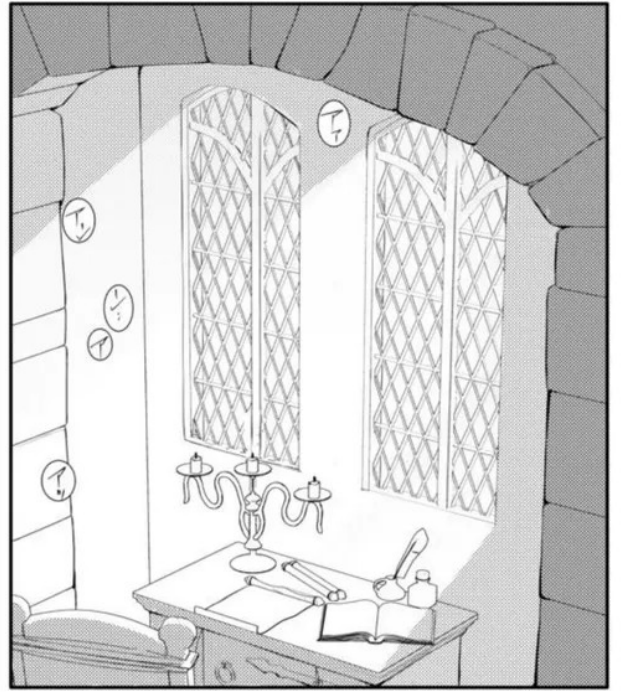
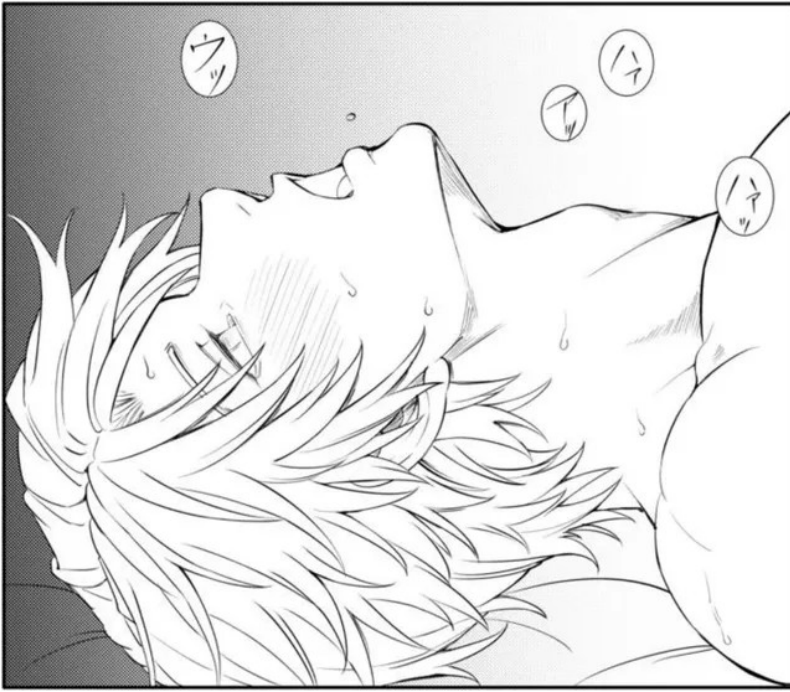
ハ

レ

フェリル

…愛おしい







陛下より叙任を
賜ってから
間もない頃…

私も同じ
ような経験を
したのです

辺境の遺跡に
住みついた
ゴブリンの群れ
の討伐

数は多いが、
決して難しい
任務では
なかった…

しかし
それは
麗でした

怠惰と色欲の魔神
ベルフェゴール

かの魔神の目的は
聖騎士の魂を墮落させ
邪悪なる神に奉げること

奴に捕らえられた私は
幾日も肉体を弄ばれ
凌辱を受け続けた





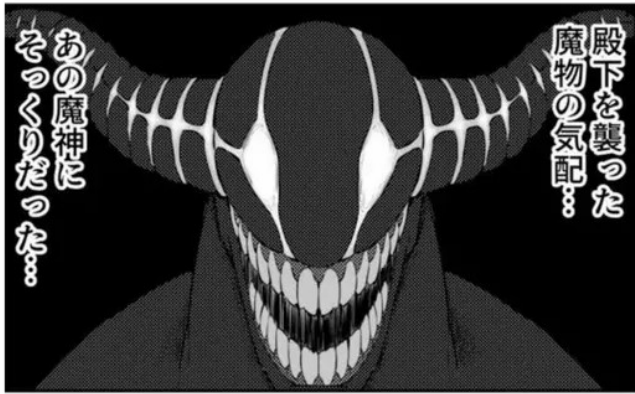


ひゃっ♡



私は貴方が仰るような清廉な男では無いのです

嫌な予感が的中した…



殿下を襲った魔物の気配…

あの魔神にそっくりだった…



多発する魔物の襲撃は全て揺動…

最初から王室を狙っていたのだ

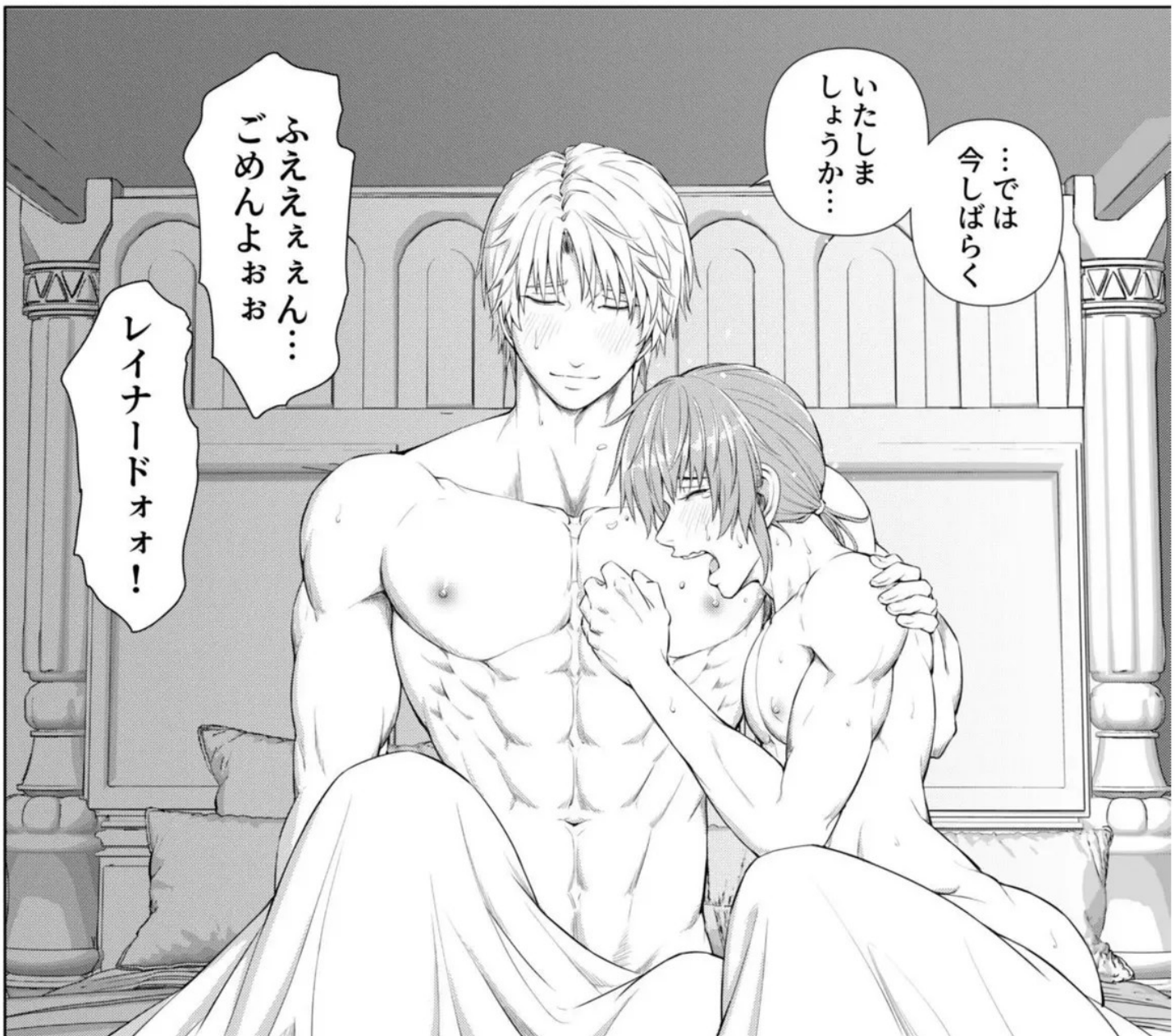


詳しく調べる必要が…

あのお…

レイナードオ

はい、殿下



終わり

ご購入誠にありがとうございました

